

平成 26 年 6 月 25 日

理事長 様
役員各位 様

全学評価委員会
委員長 桐山 孝信

教員活動点検・評価の第 1 期評価期間における結果について

1 実施の要目

教員活動点検・評価は、教員が自らの活動を持続的かつ自主的に自己認識し、自己改善をはかるとともに、他に対する説明責任を果たすことを、点検・評価の目的とし、「公立大学法人大阪市立大学教員活動点検・評価指針」並びに「公立大学法人大阪市立大学教員活動点検・評価実施要領」に基づき、2011 年 4 月から 2014 年 3 月の 3 年間を第 1 期活動点検・評価期間として実施したものである。

2 実施日程

(1) 2011 年 1 月～2011 年 3 月上旬

部局長は、全学の評価実施通知および部局としての取扱い（計画・比重設定に関する部局の考え方等）を、「個人活動評価(通知)書」(様式 2) とともに各教員にデータで配信し、期日を指定して計画・比重の設定を依頼。

各教員は、計画・比重を設定し、部局長に提出し、部局長等は、各教員の計画・比重を確認のうえ承認。

(2) 2011 年 3 月中旬

各部局より、評価組織、部局独自分野・項目、計画・比重設定に関する部局の考え方等を全学評価委員会に報告し、3 月委員会で議論。

(3) 2011 年 4 月

第 1 期評価期間開始

(4) 2012 年・2013 年 3 月頃

各教員は、当該年度分の「年度活動報告書」を作成し、部局長に提出。

(5) 2014 年 2 月末まで

各教員は、2013 年度分の「年度活動報告書」、及び「個人活動評価(通知)書」に“計画の進捗状況”および“進捗状況の自己評価”、“評価分野別評価の自己評価”を記入し、部局長に提出。

(6) 2014 年 3 月

部局評価組織は「年度活動報告書」、「個人活動評価(通知)書」の自己評価をもとに各教員の部局評価を行い、部局長は評価結果を「個人活動評価(通知)書」に記入のうえ、各教員に「個人活動評価(通知)書」のコピーを配付することにより直接通知。

(7) 2014 年 3 月～

異議申し立ての対応。

(8) 2014 年 4 月

各部局は、内容、評価概要、問題点等の報告集約。

(9) 2014 年 4 月

全学評価委員会において、問題点改善策等につき、意見交換。

3 結果

(1) 評価の実施状況

【資料1】参照

- ・全15部局で実施、対象教員数726人。(部局により専任教員以外に特任教員も対象に含む。)
- ・『年度活動報告書』『個人活動評価(通知)書』の配付件数716件、評価件数704件。
- ・なお、部局により25年度新規赴任教員、休職者に関して実施しなかったところがある。

(2) 各部局における評価組織、年度活動報告書等において追加した部局独自分野や項目、評価の実施数、件数について

【資料2、3】参照

(3) 評価結果の活用について

部局により活用方法は異なるが、教員の自主的な点検・評価(強みと弱点の把握)の材料とするとともに、部局評価結果(S・A・B・C)の分布を教授会で資料配布を行い、自身の活動状況の客観的把握、今後の活動計画立案、更には外部評価の際の参考資料として活用した(する)部局もある。

(4) 異議申立て

全15部局の何れも異議申立てはなかった。

4 教員活動点検・評価の問題点について(各部局からの報告内容)

(1) 実施内容、手順について

①スケジュールの問題点について意見があった。

- ・「2 実施日程(5)～(8)」についての部局長への依頼(1月31日)が遅い。
- ・「2 実施日程(5)～(8)」の期間が充分ではない。
- ・全体のスケジュールがわかりにくい。

②比重設定、評価の問題点について意見があった。

- ・評価段階区分の理解について、客観的基準が明確でなく、独自の判断で記述しているため、教員間・分野間で大きなばらつきが見られた。

③その他の問題点について意見があった。

- ・3年まとめでの評価であるため、執行部体制が変わることによる引継ぎ並びに書類・データ等の管理の問題がある。

(2) 評価項目、内容について

①自己評価の問題点について意見があった。

- ・評価段階区分の理解について、客観的基準が明確でなく、独自の判断で記述しているため、教員間・分野間で大きなばらつきが見られた。
- ・自己評価で「該当なし」場合の記載方法にばらつきが見られた。
- ・自己評価A、Bと部局評価の関連性が不明確であるため、いずれかが未記入の事例も少なくない。またBと部局評価が主として様式1に基づいてなされるが、その際Aの記述内容が人によって異なるため、統一的に活用することが難しい。加えて、自己

評価 B の評価項目が様式 1 の項目であることが殆ど認識されていない。

- ・公表できない内容の業務の記述について、慎重な取り扱いが必要である。
- ・SABC の自己評価の記入漏れが非常に多く、フォーマットの要記入箇所を色分けするなどの工夫を施す必要がある。

②部局評価の問題点について意見があった。

- ・自己評価に対して、部局がその妥当性を判断するための追加的なデータを集めることが困難であった。
- ・部局評価における「総合評価」欄の算出方法について部局により異なった算出方法となった。

(3) その他意見等

- ・上記のように、個別的にはさまざまな問題があり、これらを解決するためにワーキング・グループを作るなどして、自己評価システムの改善を図る必要がある。
- ・本点検・評価はあくまでも教員一人ひとりが自己の活動を点検して PDCA サイクルを回すことを目的とすることとし、部局の評価は本人自身の評価が一人合点にならないようにするための側面支援であることを構成員すべてが十分に理解したうえで進めていくことが重要である。

以 上

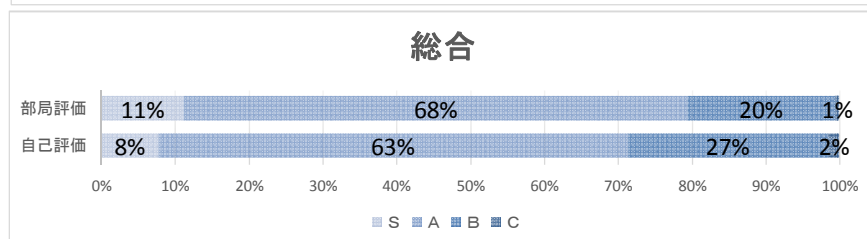
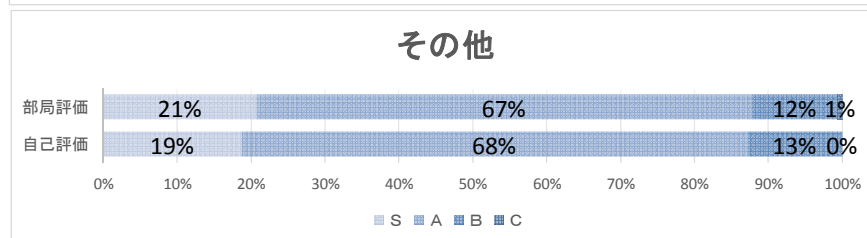
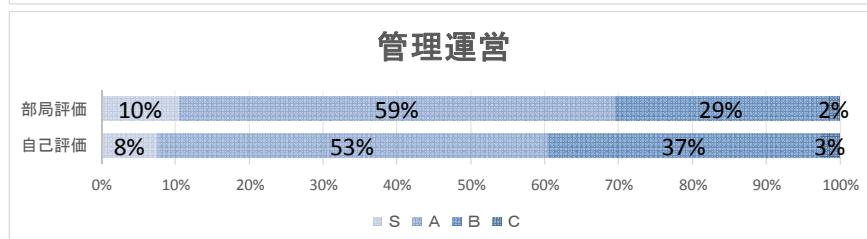
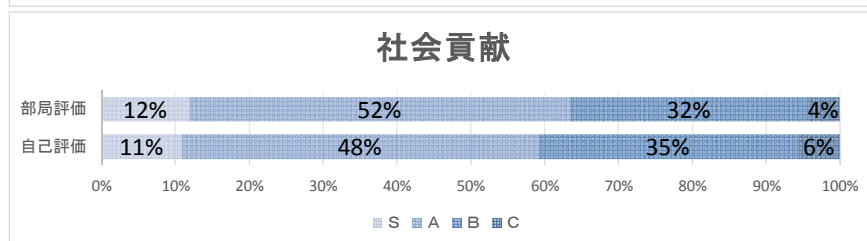
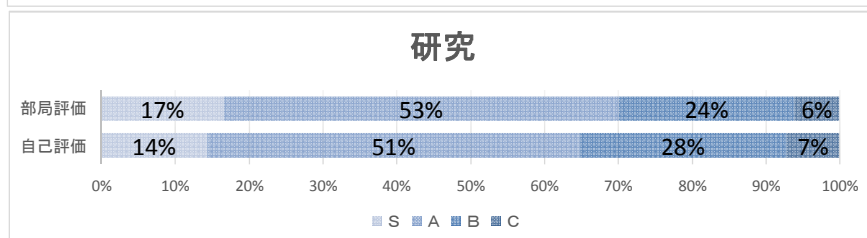
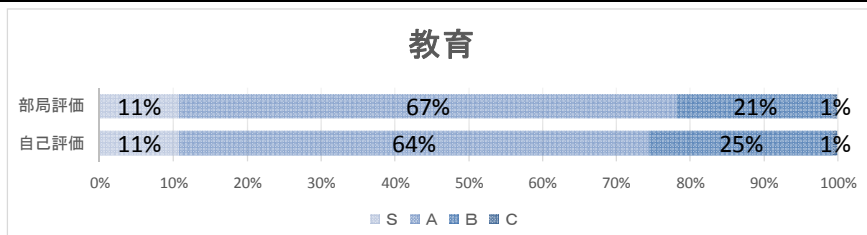
教員活動点検・評価試行実施報告書(全学まとめ)

【資料1】

1. 評価の実施、結果

教員数	726	配付件数	716	評価件数	704
(配付件数の98%)					

評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	自己評価	75	442	173	4
	部局評価	76	471	148	4	5	704
研究	自己評価	100	352	195	50	7	704
	部局評価	117	376	167	43	1	704
社会貢献	自己評価	75	334	244	39	12	704
	部局評価	83	362	225	31	3	704
管理運営	自己評価	52	365	255	19	13	704
	部局評価	73	411	201	12	7	704
その他	自己評価	35	128	24	0	517	704
	部局評価	39	126	22	1	516	704
総合評価	自己評価	51	414	177	10	52	704
	部局評価	79	480	141	4	0	704

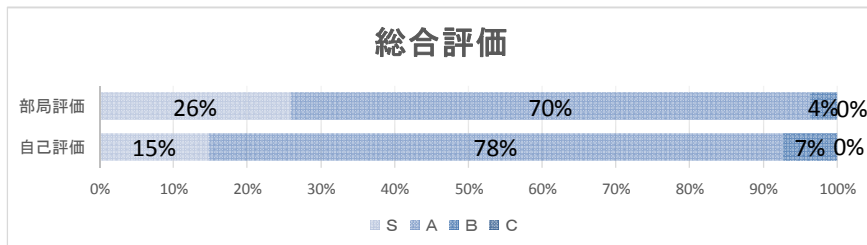
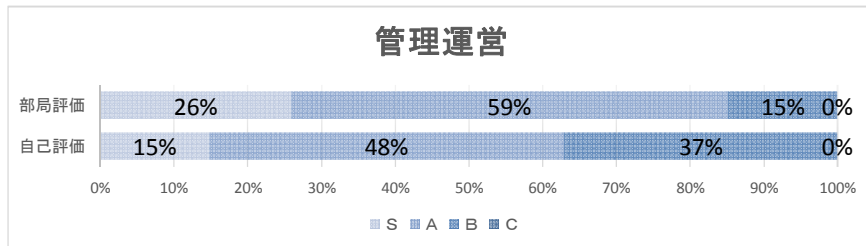
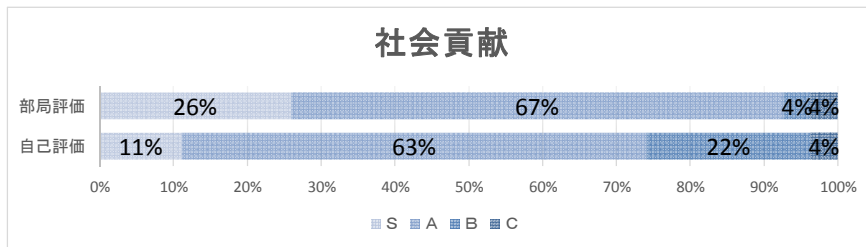
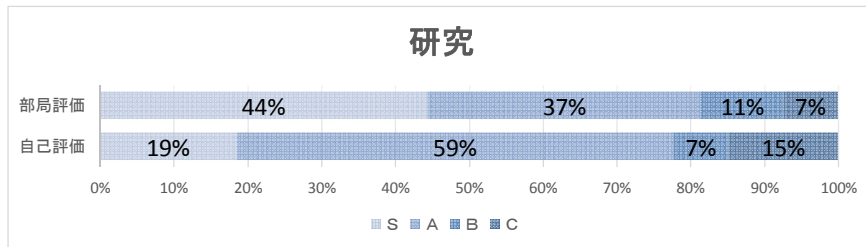
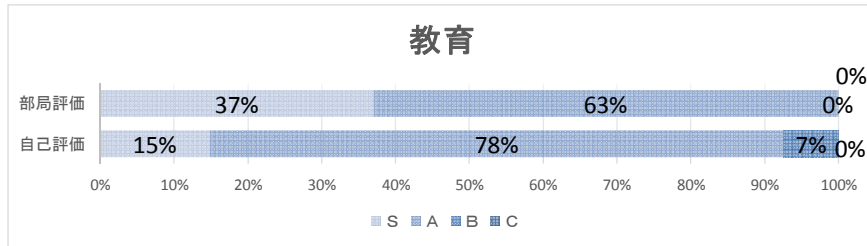


*「教員数」と「評価件数」の差は、退職・採用等で実施されなかったもの等があることによる。

【経営学研究科】

教員数	27	配付件数	27	評価件数	27
-----	----	------	----	------	----

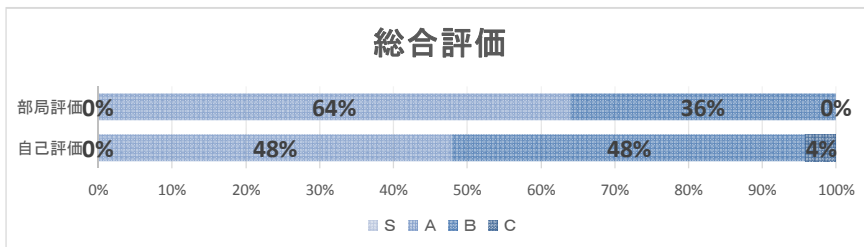
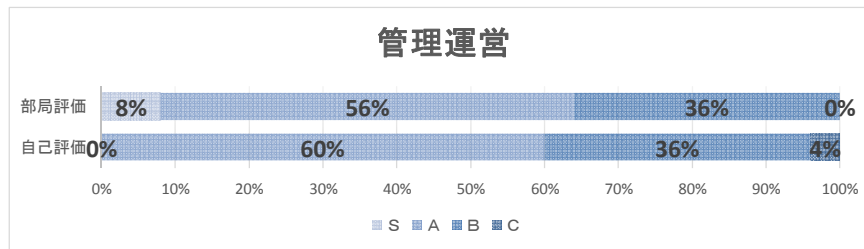
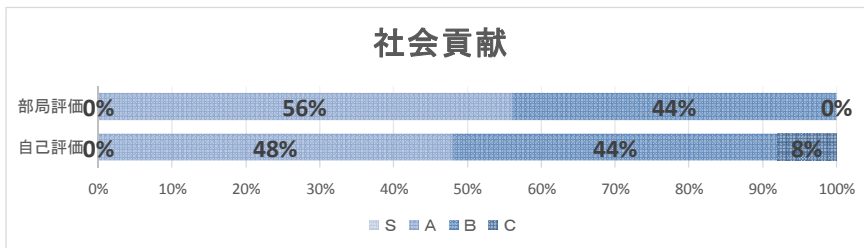
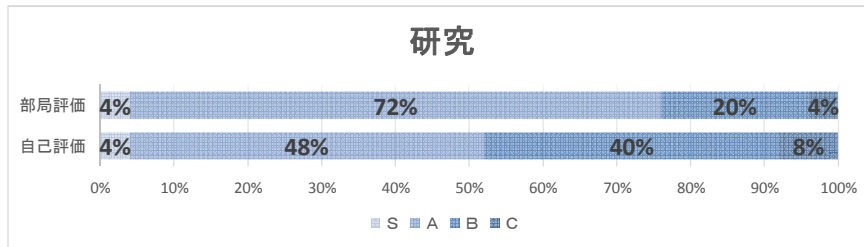
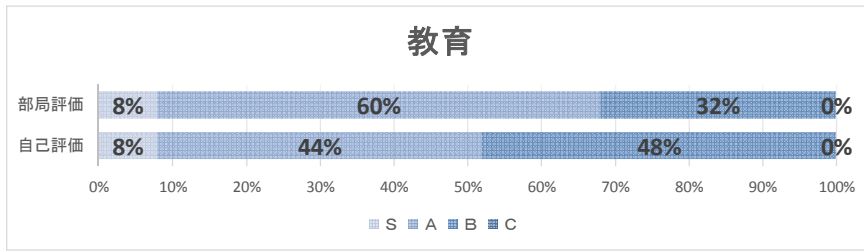
評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	自己評価	4	21	2	0
	部局評価	10	17	0	0	0	27
研究	自己評価	5	16	2	4	0	27
	部局評価	12	10	3	2	0	27
社会貢献	自己評価	3	17	6	1	0	27
	部局評価	7	18	1	1	0	27
管理運営	自己評価	4	13	10	0	0	27
	部局評価	7	16	4	0	0	27
総合評価	自己評価	4	21	2	0	0	27
	部局評価	7	19	1	0	0	27



【経済学研究科】

教員数	25	配付件数	25	評価件数	25
-----	----	------	----	------	----

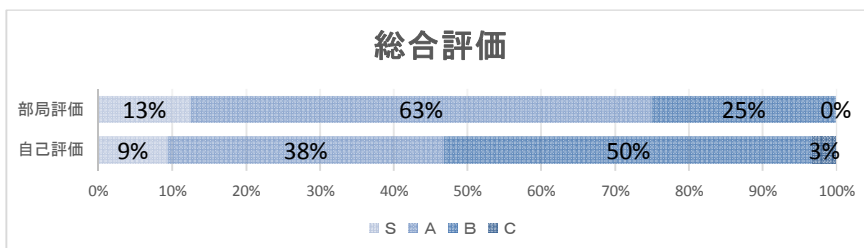
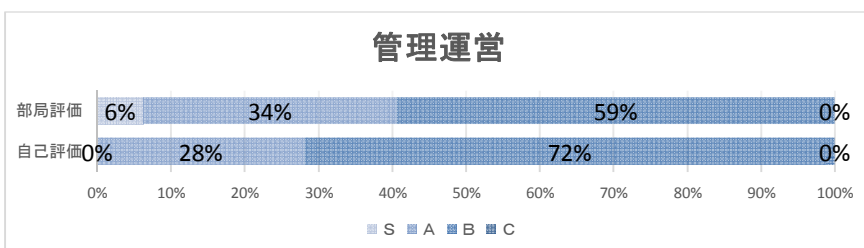
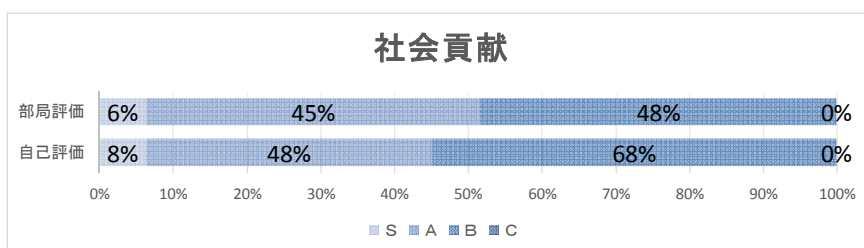
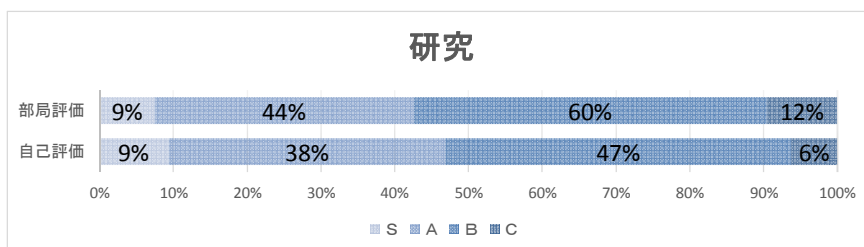
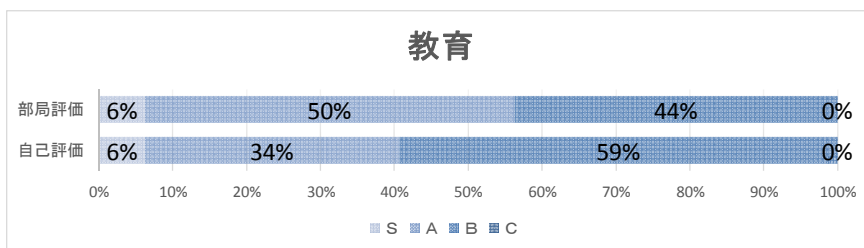
評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	2	11	12	0	0
研究	自己評価	1	12	10	2	0	25
	部局評価	1	18	5	1	0	25
社会貢献	自己評価	0	12	11	2	0	25
	部局評価	0	14	11	0	0	25
管理運営	自己評価	0	15	9	1	0	25
	部局評価	2	14	9	0	0	25
総合評価	自己評価	0	12	12	1	0	25
	部局評価	0	16	9	0	0	25



【法学研究科】

教員数	32	配付件数	32	評価件数	32
-----	----	------	----	------	----

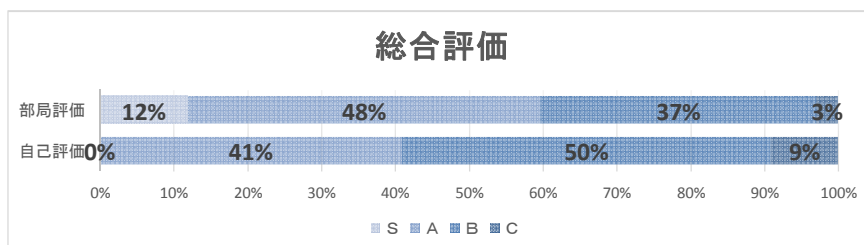
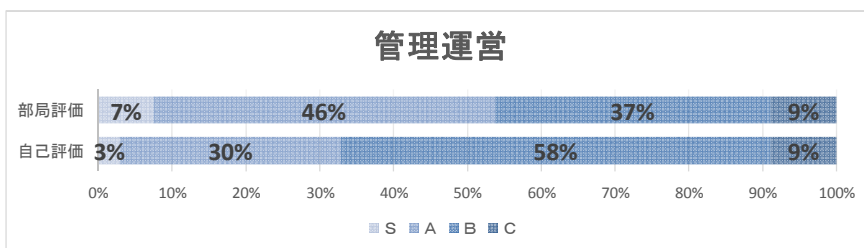
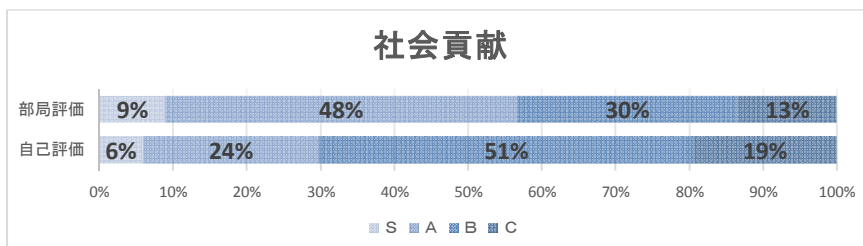
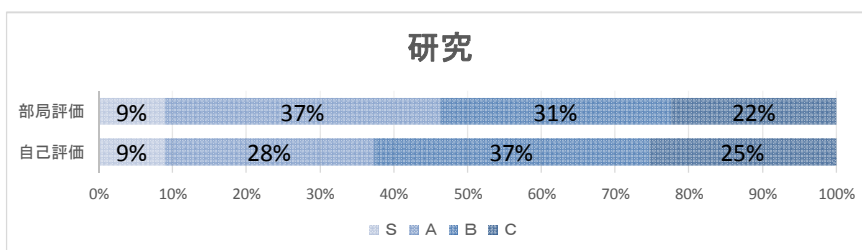
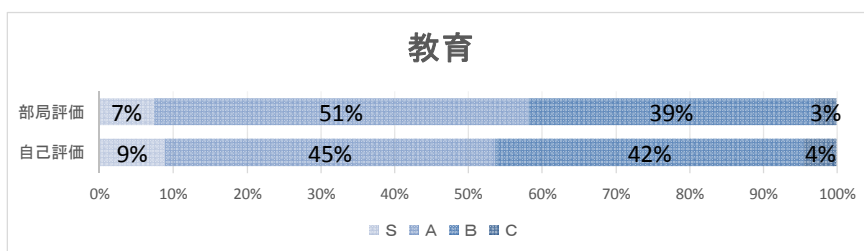
評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	2	11	19	0	0
研究	自己評価	3	12	15	2	0	32
	部局評価	3	11	15	0	0	32
社会貢献	自己評価	2	12	17	0	1	31
	部局評価	2	14	15	0	0	31
管理運営	自己評価	0	9	23	0	0	32
	部局評価	2	11	19	0	0	32
総合評価	自己評価	3	12	16	1	0	32
	部局評価	4	20	8	0	0	32



【文学研究科】

教員数	67	配付件数	67	評価件数	67
-----	----	------	----	------	----

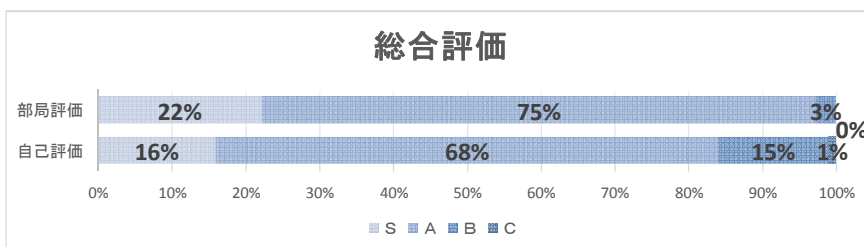
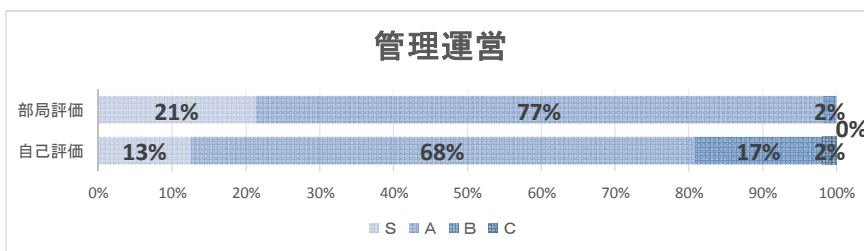
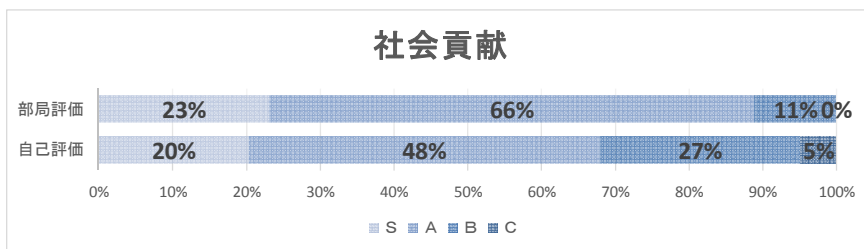
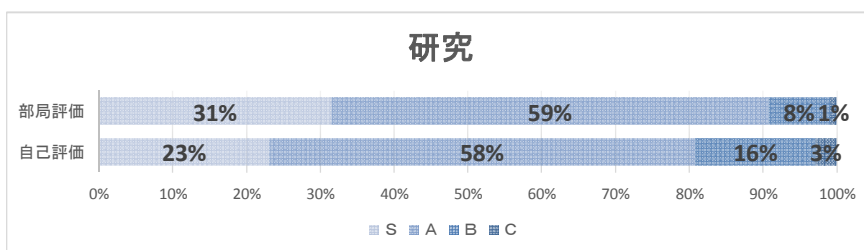
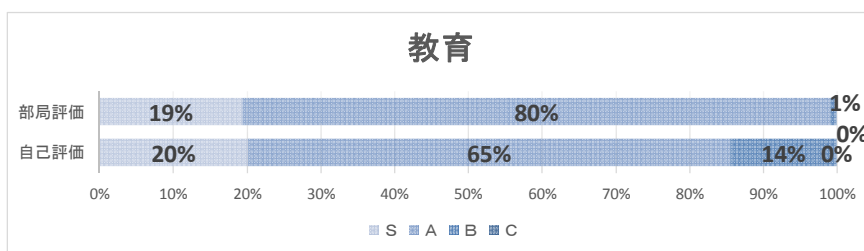
評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	自己評価	6	30	28	3
	部局評価	5	34	26	2	0	67
研究	自己評価	6	19	25	17	0	67
	部局評価	6	25	21	15	0	67
社会貢献	自己評価	4	16	34	13	0	67
	部局評価	6	32	20	9	0	67
管理運営	自己評価	2	20	39	6	0	67
	部局評価	5	31	25	6	0	67
総合評価	自己評価	0	18	22	4	23	67
	部局評価	8	32	25	2	0	67



【理学研究科】

教員数	108	配付件数	108	評価件数	108
-----	-----	------	-----	------	-----

評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	21	68	15	0	4
研究	自己評価	24	60	17	3	4	108
	部局評価	34	64	9	1	0	108
社会貢献	自己評価	21	49	28	5	5	108
	部局評価	25	71	12	0	0	108
管理運営	自己評価	13	71	18	2	4	108
	部局評価	23	83	2	0	0	108
総合評価	自己評価	15	64	14	1	14	108
	部局評価	24	81	3	0	0	108

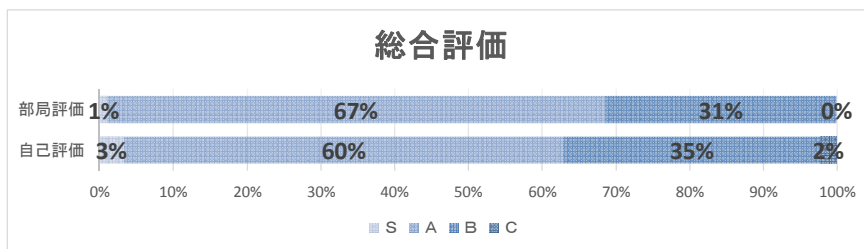
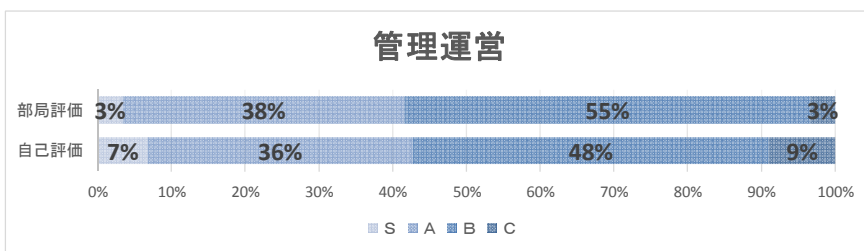
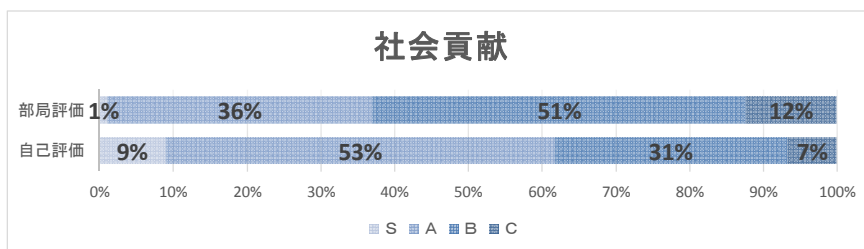
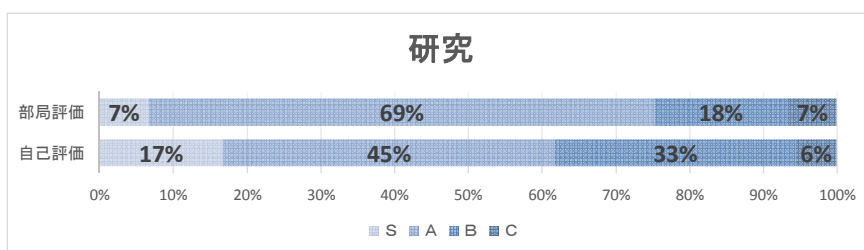
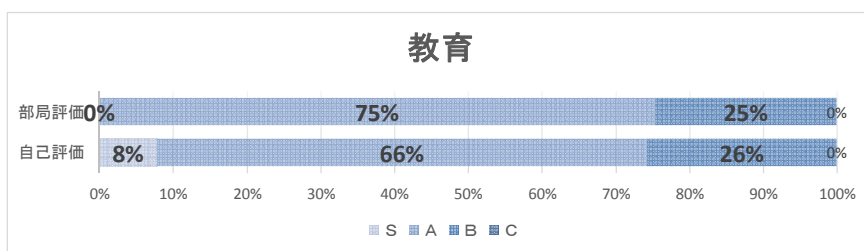


【工学研究科】

教員数	101	配付件数	91	評価件数	89
-----	-----	------	----	------	----

(1人休職中) 在職1年未満(9名)を除く(1人未提出、1人ほぼ未記入のため評価不可能)

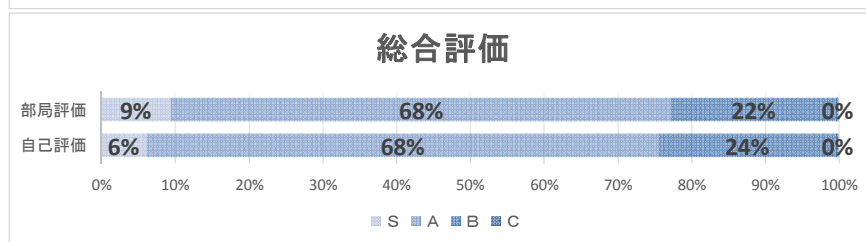
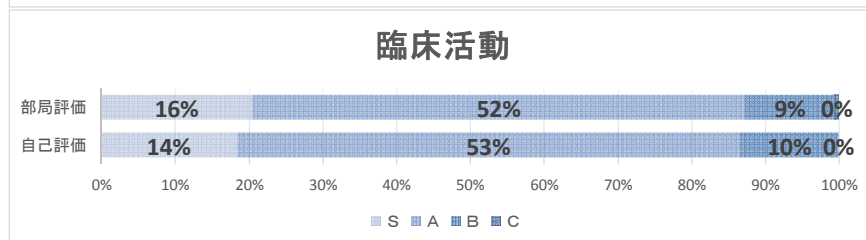
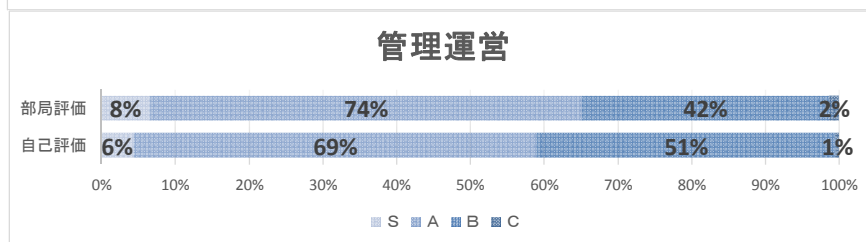
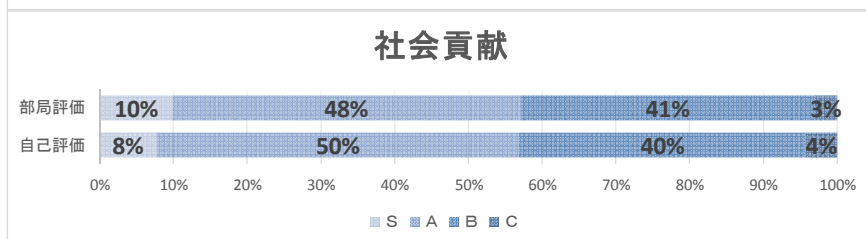
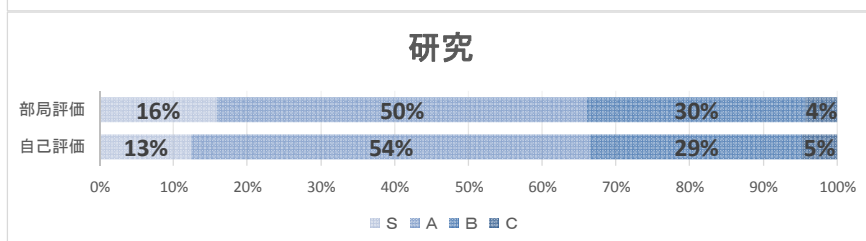
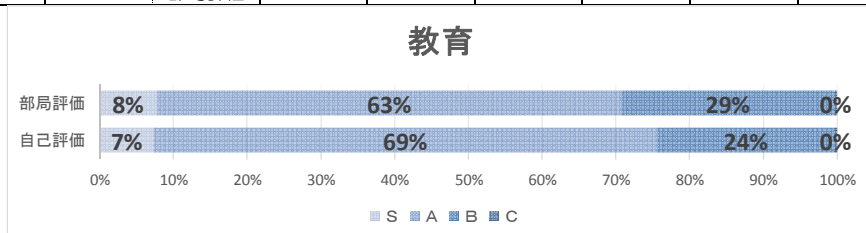
評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	7	59	23	0	0
研究	自己評価	15	40	29	5	0	89
	部局評価	6	61	16	6	0	89
社会貢献	自己評価	8	47	28	6	0	89
	部局評価	1	32	45	11	0	89
管理運営	自己評価	6	32	43	8	0	89
	部局評価	3	34	49	3	0	89
総合評価	自己評価	3	53	31	2	0	89
	部局評価	1	60	28	0	0	89



【医学研究科】

教員数	240	配付件数	240	評価件数	233
-----	-----	------	-----	------	-----

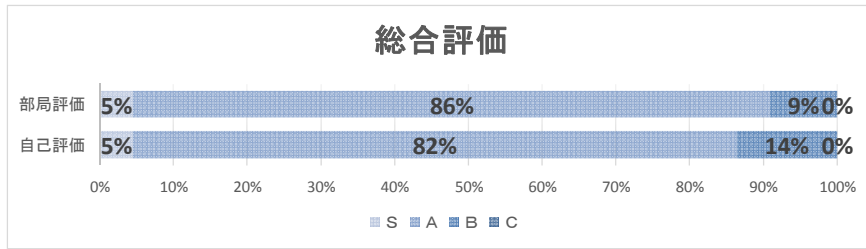
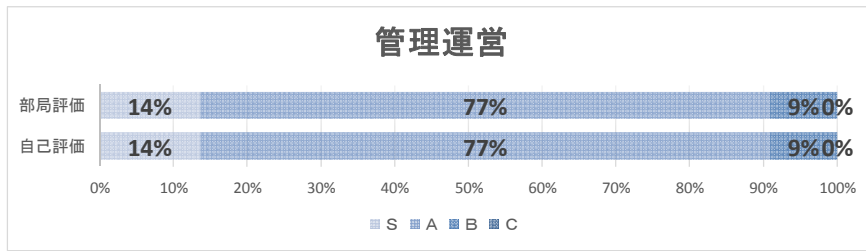
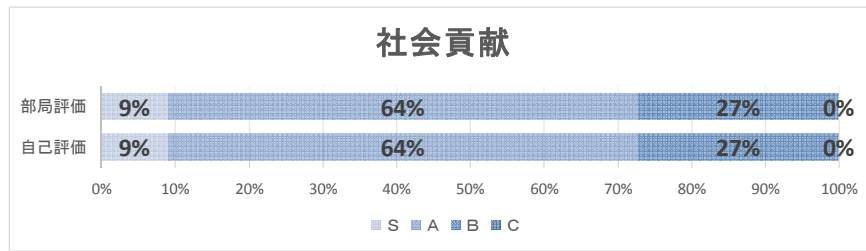
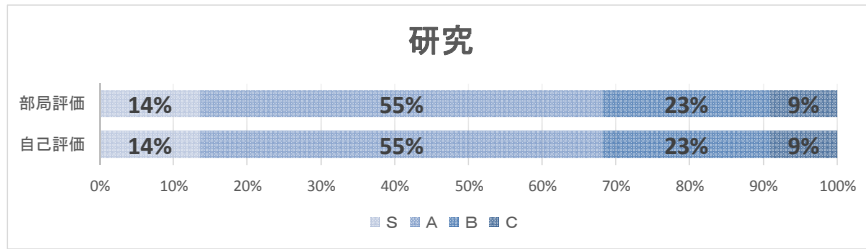
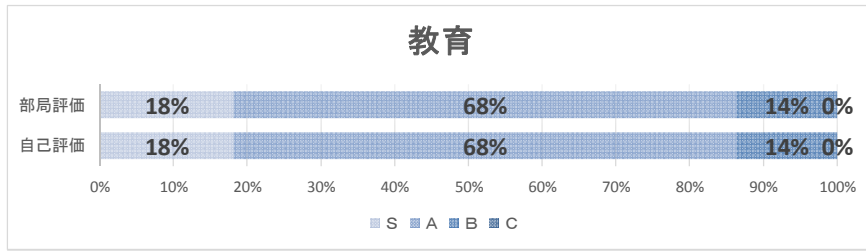
評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	17	160	56	1	0
研究	自己評価	29	126	67	11	0	233
	部局評価	37	117	69	10	0	233
社会貢献	自己評価	18	114	90	10	1	233
	部局評価	23	110	93	7	0	233
管理運営	自己評価	10	124	92	1	6	233
	部局評価	15	133	76	3	6	233
臨床活動	自己評価	33	122	24	0	54	233
	部局評価	37	120	22	1	53	233
総合評価	自己評価	14	159	55	1	4	233
	部局評価	22	158	52	1	0	233



【看護学研究科】

教員数	22	配付件数	22	評価件数	22
-----	----	------	----	------	----

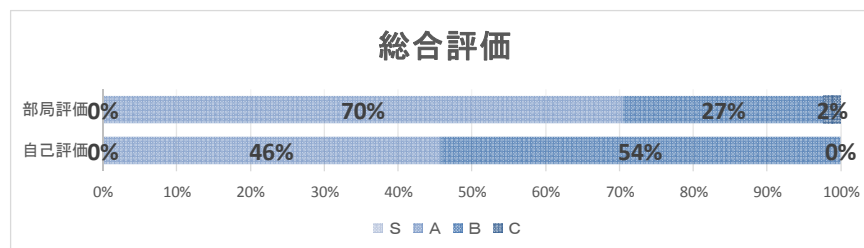
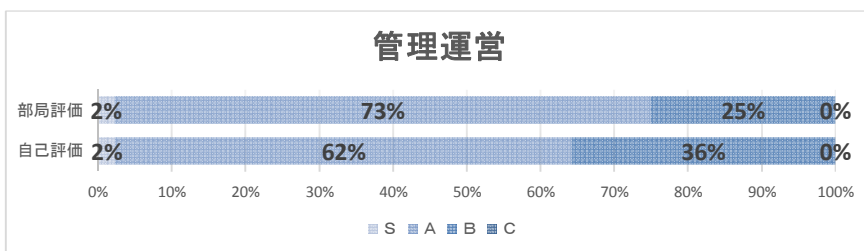
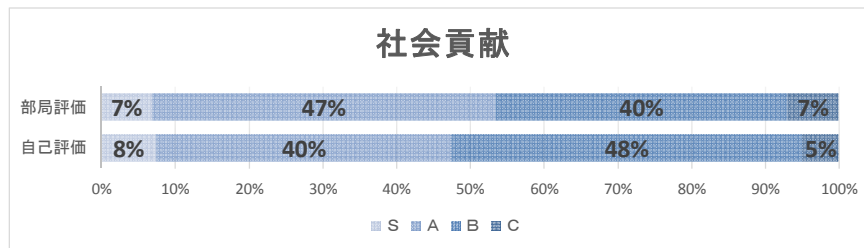
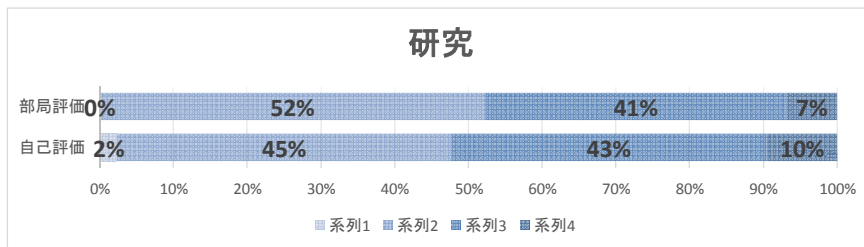
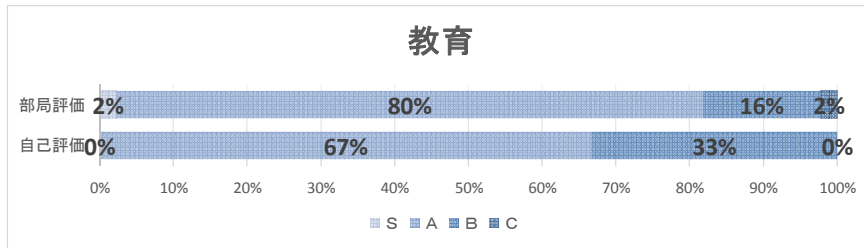
評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	自己評価	4	15	3	0
	部局評価	4	15	3	0	0	22
研究	自己評価	3	12	5	2	0	22
	部局評価	3	12	5	2	0	22
社会貢献	自己評価	2	14	6	0	0	22
	部局評価	2	14	6	0	0	22
管理運営	自己評価	3	17	2	0	0	22
	部局評価	3	17	2	0	0	22
総合評価	自己評価	1	18	3	0	0	22
	部局評価	1	19	2	0	0	22



【生活科学研究科】

教員数	45	配付件数	45	評価件数	44
-----	----	------	----	------	----

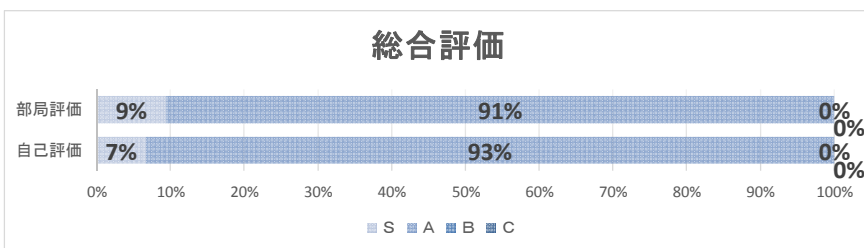
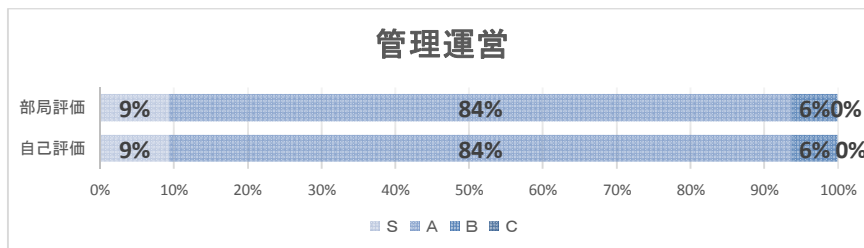
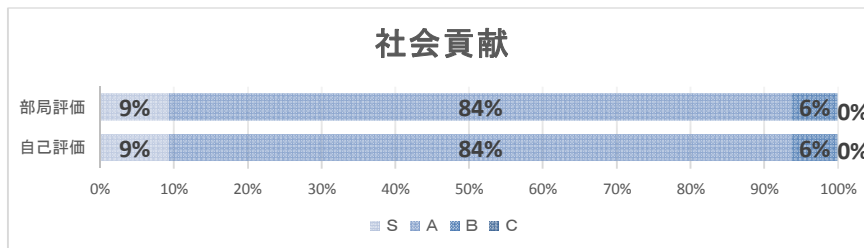
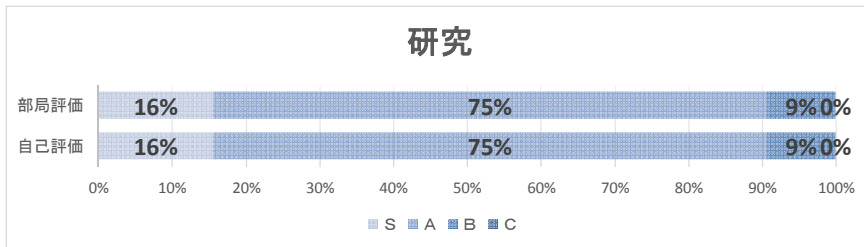
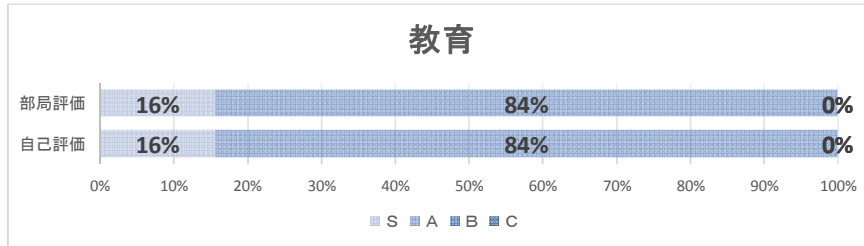
評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	0	28	14	0	2
研究	自己評価	1	19	18	4	2	42
	部局評価	0	23	18	3	0	44
社会貢献	自己評価	3	16	19	2	4	44
	部局評価	3	20	17	3	1	44
管理運営	自己評価	1	26	15	0	2	44
	部局評価	1	32	11	0	0	44
総合評価	自己評価	0	16	19	0	9	44
	部局評価	0	31	12	1	0	44



【創造都市研究科】

教員数	34	配付件数	34	評価件数	32
-----	----	------	----	------	----

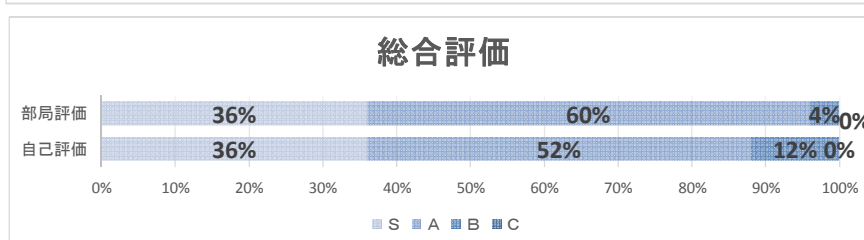
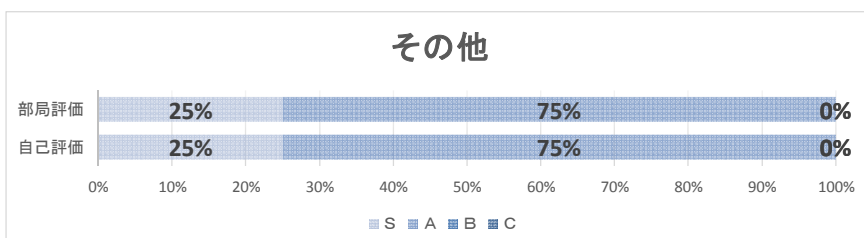
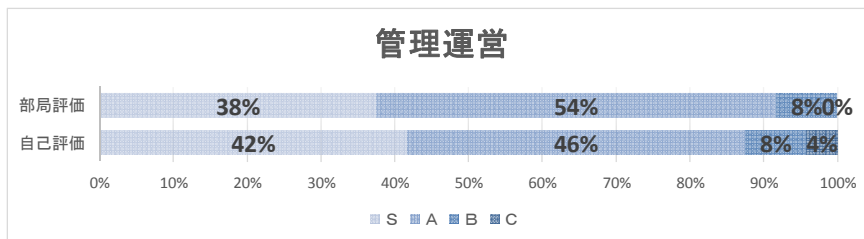
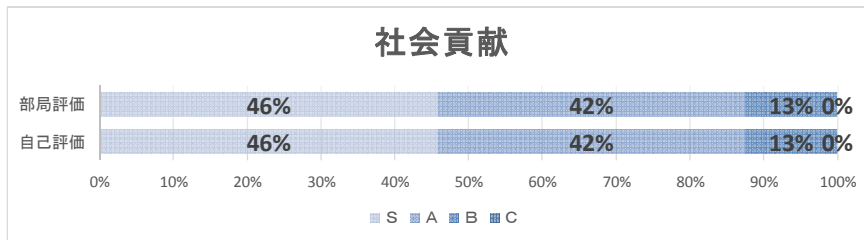
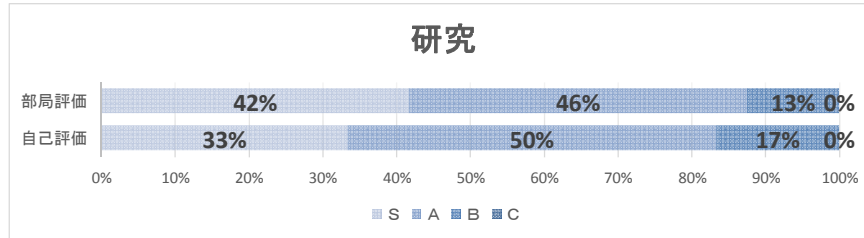
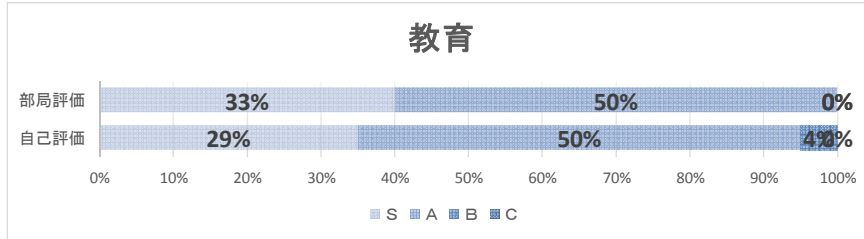
評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	自己評価	5	27	0	0
	部局評価	5	27	0	0	0	32
研究	自己評価	5	24	3	0	0	32
	部局評価	5	24	3	0	0	32
社会貢献	自己評価	3	27	2	0	0	32
	部局評価	3	27	2	0	0	32
管理運営	自己評価	3	27	2	0	0	32
	部局評価	3	27	2	0	0	32
総合評価	自己評価	3	28	0	0	2	32
	部局評価	3	29	0	0	0	32



【その他部局】

教員数	25	配付件数	25	評価件数	25
-----	----	------	----	------	----

評価分野	段階区分	S	A	B	C	該当なし	計
		教育	自己評価	7	12	1	0
	部局評価	8	12	0	0	5	25
研究	自己評価	8	12	4	0	1	25
	部局評価	10	11	3	0	1	25
社会貢献	自己評価	11	10	3	0	1	25
	部局評価	11	10	3	0	1	25
管理運営	自己評価	10	11	2	1	1	25
	部局評価	9	13	2	0	1	25
その他	自己評価	2	6	0	0	17	25
	部局評価	2	6	0	0	17	25
総合評価	自己評価	9	13	3	0	0	25
	部局評価	9	15	1	0	0	25



【資料2】

2. 部局評価組織

		職 名
経営学研究科	代表者	研究科長
	その他構成員	
経済学研究科	代表者	経済学研究科長
	その他構成員	教育研究評議員 研究科長補佐 全学評価委員 学部自己評価委員 学部自己評価委員
法学研究科	代表者	H25年度研究科長
	その他構成員	H26年度法学研究科長、H25年度副研究科長 H25年度副研究科長 全学評価委員
文学研究科	代表者	部局内自己評価委員長（全学評価委員・副研究科長）
	その他構成員	部局内自己評価委員（研究科長） 部局内自己評価委員（教育研究評議員） 部局内自己評価委員（部局教務委員長） 部局内自己評価委員（部局庶務予算委員長）
理学研究科	代表者	研究科長
	その他構成員	教授 教授 教授 教授 教授
工学研究科	代表者	研究科長
	その他構成員	副研究科長 教育研究評議員
医学研究科	代表者	医学研究科長
	その他構成員	教授 部局内自己評価委員（教育研究評議員） 教授 部局内自己評価委員（全学評価委員） 教授 部局内自己評価委員 教授 部局内自己評価委員 教授 部局内自己評価委員 教授 部局内自己評価委員
看護学研究科	代表者	研究科長
	その他構成員	副研究科長 教育研究評議員 全学評価委員
生活科学研究科	代表者	教授 H25年度研究科長
	その他構成員	教授 H26年度研究科長 H25年度評議員 教授 H25年度副研究科長 H25年度全学評価委員 教授 H26年度全学評価委員
創造都市研究科	代表者	教授（研究科長）
	その他構成員	教授（評議員・副研究科長） 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授
都市研究プラザ	代表者	所長・教授
	その他構成員	副所長・教授 副所長・教授 准教授
大学教育研究センター	代表者	大学教育研究センター所長・副学長
都市健康・スポーツ研究センター	代表者	大学教育研究センター副所長・教授
	その他構成員	所長(教授) 教授
英語教育開発センター	代表者	英語教育開発センター所長・副学長
	その他構成員	教授
複合先端研究機構	代表者	教授 機構長
	その他構成員	教授 プロジェクトリーダー

【資料3】

3. 年度活動報告書等において追加した部局独自分野や項目

経営学研究科	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	なし
経済学研究科	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	なし
法学研究科	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	なし
文学研究科	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	なし
理学研究科	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	学士課程教育（全学共通）
		研究	その他の研究活動
		社会貢献	なし
		管理運営	研究科内・学科内委員、入試業務
工学研究科	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	留学生・社会人の受け入れ
		研究	
		社会貢献	国際交流活動
		管理運営	研究科・学部委員／専攻・学科委員
医学研究科	評価分野の追加		臨床活動
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	なし
	臨床活動	臨床系教員のみ	
看護学研究科	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	なし
生活科学研究科	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	「研究科内委員」を追加

創造都市研究科	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	なし
都市研究プラザ	評価分野の追加		対外発信
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	なし
		対外発信	
大学教育研究センター	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	「3. その他教育活動—(1)FD活動への貢献」は、他部局のFD活動への貢献に限定して、センター主催のFD活動については、「4. 部局独自項目」として、「(1)大学教育研究センター FD事業」を作って、こちらに記入する。さらに、「(2)教育広報・教育情報公開」を作り、広報誌や紀要の作成に関する貢献を記入する。
		研究	「4. 部局独自項目」として、「大阪市立大学の教育に関連する調査研究等」を入れる。研究成果として学会誌等に公表するには適さない研究報告書の作成や、研究に基づく大学教育改革への提言の作成などをこちらに記入する。
		社会貢献	「4. 部局独自項目」として、「高等教育への貢献」を入れる。他大学でのFD関連の講演など。
		管理運営	なし
都市健康・スポーツ研究センター	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	なし
英語開発研究センター	評価分野の追加		
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	独自項目として「センターの運営」を入れる。
複合先端研究機構	評価分野の追加		なし
	評価項目の追加	教育	なし
		研究	なし
		社会貢献	なし
		管理運営	なし